

記載例

事業計画書

団体名： ○○日本語教室

事業名 バスツアー～秋田県鹿角市で文化遺産をめぐる～	
事業の種類（該当するものに○） 1 国際交流 2 国際協力 3 国際理解 4 多文化共生	
事業対象者：○○市民どなたでも 参加見込人数 30 人（うち外国籍者数 10 人） 周知方法：A I Aの 1 ウェブサイト 2 Facebook 3 Instagram （必ず1つ以上選択してください。） 周知時期： ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日頃	
事業を企画した動機・目的（事業を企画するに至った問題意識） 市内で暮らす外国出身の方に秋田の文化遺産に親しみ、日本の文化を体験してもらうために、鹿角地域の文化遺産をめぐるバスツアーを実施する。 秋田県で暮らしているながら、県内を観光する機会が持てない外国出身の方に、秋田の魅力を感じてもらい、また普段外国出身の方と接する機会のない市民が、外国人と交流することで異国の文化を知り、楽しみながらお互いに理解することを目的として実施する。	
事業内容 秋田県の文化遺産などを知ってもらうために大湯ストーンサークル館や道の駅あんたらあ内の「祭り展示館」を見学する。 道の駅あんたらあでは、味噌つけたんぼの体験を通し秋田の郷土料理にも親しんでもらう。 外国出身の方には日本文化を、市民には外国の方から出身国の食文化や文化遺産に関する情報を教えてもらい、互いの文化の違いを尊重し交流する。	事業日程・行程 事前ミーティング： 2025年○月○日○時 ○○公民館 持ち物などの連絡 当日：2025年○月○日○時に○○まで集合 ○○時 バス出発 ○○時 道の駅あんたらあ到着 ○○時 祭り展示館見学 ○○時 昼食（味噌つけたんぼ体験） ○○時 大湯ストーンサークル館見学 ○○時 解散
成果目標 外国出身の方が、文化遺産の見学や食文化を体験することにより、現在暮らしている秋田県のことや日本文化について知ってもらい、さらに秋田県民が外国出身の方の文化に触れ、お互いの文化や習慣の違いを認識し、その違いを尊重することによって、多文化共生の促進を図る。	

※この用紙1枚で概略が分かるように書いてください。